



Movement Letter . 1

まちなかの多様な人材が出会い・知り合い 話し合いながら「相互理解」が目標！

アドバイザーの市野めぐみです。2月2日(日)午後。中央公民館301号室で、まちをこれから面白くするワークショップ(略して“まちこれWS) ☆ムーブメントの起こし方☆の第1回がスタートしました。参加者は28名の皆さん。

前半は、このワークショップのねらいについて説明があり、皆さんでYouTube“ムーブメントの起こし方”を鑑賞し、全員ハテナマークいっぱいのまま、アイスブレイクに突入。このころになると少しずつ打ち解けてきました。アイスブレイクの後には全員で自己紹介を。自分の書いたムーブメントのネタを説明しつつ、想いや気持ちを全体で共有しました。

後半は、ワークショップ。ワールドカフェという手法で、できるだけたくさんの参加者と話し合いの時間ができるようにしました。各グループのホワイトボードには、あれやこれやと皆さんのアイデアや夢がいっぱいに書かれていました。



事務局のグッチです。この講座は、楽しみながら、まちづくりについて話し合い、誰かと何かを成しえていくまでのプロセスを体験します。果たして、3回でどれだけムーブメントが起こせるのか？楽しみです。



アイスブレイク① パースデリングで席替え

参加者のチヨちゃん(5月生まれ)を中心に、1月生まれから12月生まれまでリング状に並び替え。スムーズに出来た！と思いきや、確認してみると「あれ笑」「あれ笑」の連続。なかなか上手くいかないものです。でも、少し動くだけで緊張がほぐれます。

アイスブレイク② 似顔絵名札で和みましよう

席替えした隣の人とペアになって、相手の似顔絵を描きあいました。なぜかはじめに「すみません」「ごめんね～」と謝る人多数笑。でも、下手でも大丈夫。これで世界にたった一つのオリジナル名札が完成！宝物ですね。あつ。ニックネームで呼びあいましよう！お忘れなく。



自己紹介は自分流で！

十人十色、それぞれの想い

1. YouTube“ムーブメントの起こし方”
2. アイスブレイク
3. 自己紹介
4. ワークショップ
～ワールドカフェ～
5. ふりかえり



A: こと も

農業体験 (地産地消・野菜作り教室)

親子でできるカフェ

お店体験 (ミニコンベンション)

里山体験、ママと子どもが集まるカフェ

他のママから子どもが教えてもらう場

こどもの社会勉強の場

大人から子どもまで体験できる場

ママが子どもを連れて安心して話すことができる場所が少ない

子どもが中心でタテ (多世代=体験) ヨコ (同世代・子育て世代=集い・カフェ) ナナメ (ジジババ世代=伝承) のつながり



B: 農 業

阿久比駅で駅弁

イベントとしてお弁当コンテスト

阿久比をもっと知ってもらう。

アグビー・アグガールがPR販売する

ターゲットは子育てママや外部からの集客

収穫祭やぐらからお餅、マルシェ、朝市

阿久比の農産物をプロが作り、プロが料理する

→コンセプト (健康になれる・ダイエット効果有り)

ストーリーが大事

畑からとってくる地産地消カフェ



MEGUMI のコラム

「まちづくりと恋愛?!」

言葉は知っていても答えはない。相手が見つかって初めて成立するものだから同じ形はひとつとしてない。黙っていても相手は見つからない (情報発信)。敵を知り己を知らば百戦危うからず→やりたいことを声に出す (耕す) →自分のできることを整理する (種まき) →足りないところを募集する (目配り。気配り) 目指す方向性を共有し、お互いが WinWin になった時、幸せのムーブメントが起こるかもしれません。そして、大切だからこそ、継続のための心配り (ケア) も忘れずに!



未完成だからこそ、これからの話し合いで皆さんの得意や人脈を生かしたり、事例をマネたりしながら、アイデアを推敲してください。また、企画から外れたアイデアにも知り合いを紹介するなど、本ワークショップに集まった仲間からご縁をつなげましょう!

C: 企 画~なにかやりたいよ~

フラッシュモブ、ママチャリレース

決まりやルールはない

仕掛けは初めと途中の「チョット」

キャッチフレーズ

面白そう! を想像・考えさせる

「FUN」づくり

ターゲットは誰?

継続するエネルギー→モチベーション

価値観、ストーリーの組み立て

外からの参加、楽しく非日常的



D: 迷ってます

花で盛り上げる!

矢勝川、ごんげん山彼岸花盛り上げ計画

多世代 (若い人も) 巻き込むこと大事

新美南吉は半田・きつねは阿久比、ごんぎつねまつり

→楽市楽座・集客 モニュメントよりも根付!

(経済効果!! お金にもなるよ)

春は菜の花 年間で一帯を 菜の花のお土産

田んぼのあぜ

素晴らしい自然 (ママ子ども イベント仕掛けやベビーカーで散歩)



後半は、ワールドカフェで相互理解を深めました。ワールドカフェは「会議室で行われる会話ではなく、カフェのようなオープンな場で行われる対話を通じて知恵とアイデアを生み出す」対話の方法です。メンバーの組み合わせを変えながら、同一テーマで少人数のグループにより話し合いを続けます。

第1回 (2月2日) のふりかえりシートより (一部抜粋です。みなさんから本当にたくさんのご意見、ありがとうございます。) ムーブメントを起こすためのヒントやキーワードがこの中にもあると思います。

- いろいろな考え方やしたいことがあり、何が自分も楽しくできるかを考えるきっかけ作りができました。
- 前進ばかりでなく、しっかり立ち位置を自覚する。阿久比での自慢がお金を落とすことにつなげたい。
- 本当に何かできるかもと思った。阿久比町を何とかしたいで、このメンバーで本当に動き出したら素敵。
- 「町づくり」と「町起こし」が混在していて、話し合いの軸がぶれていると感じた。まとめるのが難しい。
- パパママはもちろん多世代の方と交流できて、子どもも交流できる場が作れたらと。
- ホワイトボードの内容をWEBで見られるようにすると、参加者にフィードバックがあって良い。
- ただの話し合いで終わってしまうのはもったいない。
- 3回目は何か形にして実際に動くところへ持っていければいいなと思っています。
- 3回目は皆さんの意見を参考に何か本当にできる事をやりたい。
- この先これがつながって皆さんと何かができると思うとわくわくする。
- 3回目は具体的なムーブメントを話したい。
- 内容は夢があって大変良いと感じます。でも、自分自身の活動でいっぱい・いっぱいです。
- やはり具現化が肝ですね。



第2回は
一宮のムーブメントの仕掛け人
星野博さんが阿久比に